

放課後等デイサービス 自己評価表 調査結果(2022年度)

■ アンケート配布数(対象者数) : 8名 回答数 : 8名 回収率 : 100%
 ■ アンケート実施 : 2022年10月

環境・体制設備

		はい		いいえ		どちらともいえない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切あるか	7	87.5			1	12.5
2	職員の配置数は適切であるか	8	100				
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	100				

【改善目標、工夫している点など】

- 1 ・適切である
 - ・利用人数に対し1人当たり4.75メートル以上あり適切である
 - ・怪我のないように
 - ・ テーブルを移動するなどしてスペースを確保している
 - ・ スペース上、子供の人数が多すぎることはなく快適に過ごせていると思う
 - ・活動内容によってはパーティションで区切って活動を行っている
 - ・物理的距離が近い場面に遭遇した際は離れるよう声掛けをしたり、職員が間に入るなどの対応をしている。また、飲食時は1人1テーブルとし、テーブル同士間を空けて体の向きを一方に揃えて食べるようにしている。

- 2 ・適切である。毎月、人員配置及び常勤換算を確認している。
 - ・ 適切である
 - ・役割り分担
 - ・送迎時間などを工夫している。
 - ・適切な人数で対応出来ていると思う
 - ・曜日と利用人数にもよるが、概ね適切であるため、マンツーマンでの支援が必要な場面で対応することが出来ているように思う。
 - ・毎月、人員配置と常勤換算を確認しているので適切である。

- 3 ・段差はなく、児童用トイレも車椅子でも入れるくらいの十分な広さがある。
 - ・施設内全てバリアフリー化されており、適切に配慮がなされている
 - ・児童が使うものなどは、児童の身長に合わせた位置に置くようにしてあるなどして配慮してあると思う。今は身体に障害がある児童もいないため、必要に応じて手すりをつけたりしていけたらと考える。
 - ・事業所開業から玄関、トイレなどバリアフリー化されている。
 - ・段差はなく、児童用トイレも車椅子でも入れるくらいの十分な広さがある。
 - ・トイレなどもバリアフリー対応していると思う
 - ・事業所内に段差がないので、子供達が遊ぶ際等でも転んだりせず過ごせていいと思う

業務改善

		はい		いいえ		どちらともいえない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	5	62.5			3	37.5
5	保護者向け評価表を活用等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	8	100				
6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	75			2	25
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	25	4	50	2	25
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	100				

【改善目標、工夫している点など】

- 4 ・安全に関しては改善されている。
 ・職員同士で現状での最善の方法を検討して実施し改善しながら進めている
 ・情報を共有する
 ・会議など
 ・職員間では共有出来ていてもパートまで伝わっておらず、対応出来ない事がある
 ・職員間で話し合いながら行っている
 ・毎日の朝礼や職員会議を毎月開催しており、レジュメを配り参加出来なかった職員にも周知出来るようにしている。
 ・職員間で話し合い参加出来なかった職員にも情報共有を行っている
- 5 ・LINEなどを活用して、保護者から意向などの把握に努めている
 ・保護者向け評価表を活用して意向等を把握し結果に基づいて改善している
 ・その都度 検討している
 ・保護者の要望を詳しく書いてもらっている。
 ・保護者の声に耳を傾けながら児童対応を考えている
 ・保護者からの意向や要望になるべく応えられるよう、職員間で周知出来るようにしていると思う。
 ・年に1度必ず保護者向け評価表のアンケートを実施し、結果に基づいて改善に努めている。
- 6 ・ホームページで公開している
 ・集計後必ず公開している
 ・振り返りをする
 ・分かりません。
 ・ホームページに載せて日々の向上に繋げている
 ・結果を事業所のホームページにて公開している。
 ・集計後にホームページに公表している。また、保護者にも印刷し配布している。
- 7 ・なし
 ・現時点では外部評価を行っていない
 ・検討して改善している
 ・分かりません。
 ・分からない
 ・第三者による外部評価が行われた際には職員間で周知した後、話し合いを重ねて改善に努めると
 ・現時点で外部評価を行っていない
- 8 ・年間研修計画を立てて計画通りに研修している
 ・毎月1回は必ず研修を行っている
 ・ケースによって研修内容を振り返る
 ・折を見て研修を行っている。
 ・研修等に積極的に取り組んでいる
 ・毎月開催されている
 ・毎月1度は研修を実施し、詳しい資料の添付も行なっている。
 ・年間計画を立て、計画通りに月1回は必ず研修を行っている

適切な支援の提供

		はい		いいえ		どちらともいえない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	100				
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	37.5	3	37.5	2	25
11	活動プログラムの立案をチームで行なっているか	6	75			2	25
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	87.5			1	12.5
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	7	87.5			1	12.5
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	75			2	25
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	100				
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	75			2	25
17	日々に支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	87.5			1	12.5
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	100				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	5	62.5			3	37.5

【改善目標、工夫している点など】

- 9
- ・保護者との面談、モニタリング、個別支援会議を行い個々のニーズや状況に沿って計画書を作成し
 - ・個々の能力に応じて行う
 - ・会議を行い話し合っている。
 - ・子供達それぞれに合った計画を立てている
 - ・保護者からのニーズを聞いた上で現在の児童の様子や状況などからすり合わせを行い、一人一人に合った計画書を作成するよう心掛けている。
 - ・毎月のケース会議、計画書作成前の保護者へアンケートの実施、保護者との面談、モニタリング、個別支援会議を行い、個々に合った計画書を作成している。
- 10
- ・なし
 - ・アセスメントツールはあるが使用できていないため今後取り入れていきたい
 - ・普段の関わりから支援を考え工夫する
 - ・分かりません。
 - ・現在、標準化されてアセスメントツールは使用していないが、次回の計画書作成時に使用したい
 - ・保護者から頂いたアセスメントツールを参考に支援内容の検討や支援方法などを話し合うことがある。
 - ・適応行動の状況を図るために、職員間で検討や話し合いは行っているが、アセスメントツールは使用していなかった。次回の計画書作成から導入予定。
- 11
- ・適切なプログラムで活動している
 - ・平日は週ごとにリーダーの職員が中心となって考えているが活動の進め方など職員同士で意見を出し合いながら行っている 長期休暇の際には職員で話し合い活動内容を決めている
 - ・支援方法を工夫している
 - ・分かりません。
 - ・職員間で行っている
 - ・「チーム」がどの範囲を指すのかわからないが、長期休暇の際には職員全体で活動内容を話し合う時間がある。
 - ・週ごとにリーダーの職員が中心となり活動の内容を考え職員間で意見しながら活動を進めている。長期休暇の活動内容は職員間で話し合いながら決定している。
- 12
- ・1人のリーダーを一週間×3人で行うことで固定化しないようにしている
 - ・定期的に新しい活動を取り入れたり同じ活動内容でも難易度を変えたりしながら固定化しないよう工夫している
 - ・飽きないように工夫している
 - ・様々な活動を取り入れている。
 - ・職員がいろいろなプログラムを考え、工夫して行っている
 - ・月に2つ程、新しい活動を取り入れている
 - ・一気に新しい内容を考えることは難しいが、少しずつ新しい活動を組み込めるよう努めるようにしている。
 - ・新しい活動を取り入れたり、内容変更をしながら固定化しないよう工夫されている

- 13 ・休校日など職員みんなで計画を立てて細かい設定をしている
・1日の流れを細やかに設定し集団活動や個別活動を行っている
・利用者が楽しめるように考え工夫している
・分かりません。
・子供達が楽しめるような支援を考えている
・休日や長期休暇は課題の時間が多く取れるため、児童に合わせて難易度を高くしたり課題の量を多くするなどしている。
・個々の利用時間や状況に合わせて、療育課題を設定している。
- 14 ・集団がメインとなっている。個別活動も入れていきたい。
・個々の状況を職員同士で話し合い意見を出しながら個別活動、集団活動を組み合わせ計画書を作成している
・個々の状況を考えていると思う
・分かりません。
・日々の子供の状況に応じて作成出来ている
・個別活動は児童に適したものを、集団活動はなるべく利用している児童全員が参加出来るよう努めている。児童のその日の様子や年齢に合わせて個室対応や別の活動を提供するようにしている。
・個別活動では状況に合った療育課題を提供し、集団活動も無理なく参加できるように配慮するなど工夫しながら組み合わせている
- 15 ・朝のミーティング、パート職員には必ず口頭、ノートにて確認している
・朝のミーティング時に1日の予定や役割を全職員で確認している
・打ち合わせ、引き継ぎノートの活用
・毎日確認している。
・申し送りノートで確認している
・始業の際に朝礼を行っている。
・朝のミーティング時に1日の予定や活動内容を全職員で確認している。また申し送りノートを活用し朝ミーティングに参加出来なかった職員が確認できるようにしている。
- 16 ・振り返りは朝行なっている。気づいた点などはLINEなどで報告し共有している
・送迎等もありその日のうちに全職員で共有する事はできない事も多いが翌日の朝のミーティング時には必ず昨日の振り返りや児童の様子など共有している
・情報を共有するように心がけている
・分かりません。
・送迎等の関係上、必ず打ち合わせや振り返りをしてそれを共有するのは難しいが、次の日の申し送りノート等で共有出来ている
・その日のうちではないが、話し合っている
・決められた打ち合わせの時間はないが、何か有事があった際は話し合いをし、翌朝の朝礼で報告するようにしている。
・支援終了後は送迎等があるため、振り返りは翌日の朝に必ず行い共有している。
- 17 ・正しく記録している。
・計画書に沿った支援を行い支援に対しての子どもの言動など正しく記録している
・するように努めている
・分かりません。
・経過観察記録をつけている
・支援計画書をもとに、その日の様子を詳しく記録するよう心掛けている。
・正しく記録している
- 18 ・月一回のケース会議を行なっている
・半年に1回は必ずモニタリングを行っている
・していると思う
・モニタリング会議を行っている。
・都度見直し、判断している
・計画書更新時期に職員全体でモニタリングを行っている。
・月1回のケース会議、半年に1回のモニタリングを実施している。
- 19 ・基本活動はすべて出来ている。ボランティアの受け入れも行い地域の交流にも力を入れている
・行えている
・工夫していると思う
・分かりません。
・ガイドラインの基本活動が分からない
・ガイドラインを都度見直してより適切な支援を提供するよう努めたい。
・基本活動を念頭におき支援を行っている

関係機関や保護者との連携

		はい		いいえ		どちらともいえない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	7	87.5			1	12.5
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	75			2	25
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			3	37.5	5	62.5
23	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	50			4	50
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	25	2	25	4	50
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	12.5	1	12.5	6	75
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	62.5	1	12.5	2	25
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	50			4	50
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	100				
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してピアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	12.5	1	12.5	6	75

【改善目標、工夫している点など】

- 20 ・児童発達支援管理責任者が担当している
 ・必要時には児発管が出席している
 ・できていると思う
 ・参加している。
 ・分からない
 ・児童発達支援管理責任者が参加し、参加の際には児童の様子をまとめたファイル等を持参している。
 ・児童発達支援管理責任者が参加している。
- 21 ・送迎の際にも確認している
 ・送迎時には必ずその日の児童の様子を確認したり必要に応じて事業所での様子を伝えたりしている
 ・できていると思う
 ・分かりません。
 ・プリント類や面談等、情報共有していると思う
 ・学校お迎え時に確認している
 ・保護者から学校の月予定表のコピーや下校時間変更等の連絡を頂いている。学校によっては学校の先生から予定変更をお知らせ頂く場合もある。
 ・送迎の際に確認し情報共有を行うようにしている。
- 22 ・受け入れていない。
 ・現在医療的ケアが必要な子どもは受け入れていない
 ・必要に応じてできていると思う
 ・分かりません。
 ・分からない
 ・受け入れていない
 ・保護者を通して連携を図ることが多い。
 ・現在該当する児童は受け入れていない。
- 23 ・まだまだ情報共有は必要。
 ・必要に応じ面談や電話などで情報共有を行っている
 ・努めるように心がけている
 ・分かりません。
 ・分からない
 ・就学前の機関と直接連携を図ることは少ないと思う。保護者や学校の先生から就学前の状況や様子を伺っている。
 ・必要に応じて会議や電話などで情報の共有を行っている。

- 24 ・なし
- ・必要時には情報提供を行っている
 - ・できていると思う
 - ・分かりません。
 - ・分からない
 - ・該当者がいない
 - ・まだ卒業する児童がいないため分からないが、移行する場合は連携を図ると考える。
 - ・現時点で該当する児童は少ないが、移行する場合は情報提供できるよう準備は出来ている。
- 25 ・専門機関と連携出来ていない。今後は連携が必要
- ・専門機関との連携は十分にできているが研修を受ける事は出来ていない
 - ・できていると思う
 - ・分かりません。
 - ・分からない
 - ・これから機会を増やしていけるといいと思う。
 - ・必要に応じて専門機関と連携出来るように繋がりは持っているが、研修などの機会はない。
- 26 ・ボランティアを積極的に受け入れしている。コロナが落ち着いたら児童クラブと連携して活動予
- ・長期休みにはボランティアの受け入れを積極的に行っている
 - ・できていると思う
 - ・分かりません。
 - ・お互い配慮しながら交流出来ている
 - ・公園外出をした際に学童の児童たちと一緒に遊ぶことはある。
 - ・長期休暇には積極的にボランティアを受け入れている
- 27 ・連絡があれば参加している
- ・管理者、児発管が参加している
 - ・できていると思う
 - ・分かりません。
 - ・分からない
 - ・これから機会を増やしていけるといいと思う。
 - ・機会がある時は必ず参加している
- 28 ・連絡帳やLINEを使い状況説明している
- ・送迎時には必ず事業所内での様子を伝えている
 - ・できていると思う
 - ・連絡帳を使い、やり取りしている。
 - ・何かあった時など、詳しく保護者に伝えている
 - ・自宅送迎時、場合によっては保護者に来所して頂いている
 - ・送迎時や相談の際に事業所での児童の様子や家での様子を伝え合うようにしている。
 - ・連絡帳や送迎時を利用し事業所での様子をお伝えしたり、必要に応じてLINEや電話で詳しくお伝えしている
- 29 ・ペアレントトレーニングの支援は出来ていない。支援出来るように研修が必要
- ・特に支援が必要な保護者の支援は定期的に行っているが全保護者の支援は行えていない
 - ・よくわからない
 - ・分かりません。
 - ・ペアレントトレーニングが分からない
 - ・保護者から相談を受けた際など、事業所から保護者へ児童への対応や言葉掛けの仕方の提案をすることもある。
 - ・必要に応じて保護者への提案や支援を行っている

保護者への説明責任等

		はい		いいえ		どちらともいえない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%
30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行なっているか	8	100				
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	100				
32	父母の会の活動の支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			4	50	4	50
33	子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	100				
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	100				
35	個人情報に十分注意しているか	7	87.5			1	12.5
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	75			2	25
37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	1	12.5	3	37.5	4	50

【改善目標、工夫している点など】

- 30 ・対面にて説明している。運営規程などを説明できる職員が必要
 ・面談の際に説明を行っている
 ・行っていると思う
 ・面談を行っている。
 ・書類を用いて説明しているので伝わりやすいと思う
 ・書面を提示した上で内容を口頭で確認しながら丁寧に説明していると思う。
 ・面談時等に対面にて必ず説明している
- 31 ・丁寧な相談出来ている。また気軽に相談しやすいようにしたい。
 ・面談や電話などで相談に応じている
 ・充分に行っていると思う
 ・電話、面談などを行っている。
 ・保護者の声に耳を傾け、対応している
 ・保護者に来所していただき、じっくり相談する時間を設けている。
 ・必要に応じて面談や電話などで相談に応じている
- 32 ・保護者会は作ったが、開催に至っていない。
 ・保護者会はあるが開催には至っていない
 ・よくわからない
 ・分かりません。
 ・分からない
 ・会はあるがコロナ禍ということもあり開催までには至っていない
 ・昨今の状況により難しいが、これから活発に行えるといいと思う。
 ・保護者会は発足したが保護者会の開催には至っていない
- 33 ・苦情についてはLINEなどで連絡、電話又は対面にて解決している
 ・苦情対応マニュアルを作成し適切に対応している
 ・対応していると思う
 ・電話などで話をしている。
 ・苦情には迅速に情報回収し対応している
 ・苦情があった際には内容を真摯に受け止め、同じことがないように職員間で徹底して対応するようにしていると思う。
 ・LINE、電話、対面にて迅速に対応するよう心掛けている
- 34 ・月一回、みらいてらす通信を配信している
 ・毎月みらいてらす通信を発行している
 ・している
 ・お便りを発行している。
 ・写真も載せたり、工夫されており見やすくなっている
 ・みらいてらす通信を毎月発行している
 ・毎月児童発達管理責任者が発行し、連絡帳と共に配布をしている。
 ・毎月「みらいてらす通信」を発行し、活動の様子や行事予定などを発信している

- 35 ・職員にも周知している。定期的に職員に周知する必要がある。
・個人情報の管理は徹底している
・十分に注意している
・分かりません。
・子供達間でのトラブルがあった際等、保護者に伝える時は相手の個人名は伏せるようにしている
・個人情報の漏洩がないよう慎重に心掛けている。
・職員に周知し十分に注意している
- 36 ・ Googleフォームなどを使い実施している
・子どもに対しては必要時は視覚的ツールを使用し理解しやすいよう配慮している
・している
・分かりません。
・配慮して対応している
・児童に対しては視覚ツールや分かりやすい言葉選びを用いる等の配慮をしている。保護者とはLINEアプリや電話を活用してこまめな情報伝達を行なっている。
・児童に対しては必要に応じて視覚的ツールを使用するなどわかりやすく伝える工夫をしている。保護者には気がついた事は些細なことでも伝えるよう心掛けている。
- 37 ・ まだコロナもあり、地域住民を招待していない。
・ コロナの影響もあり地域住民を招待する事はできていない
・ わからない
・分かりません。
・地域に親しまれる事業所を目指したい
・長期休み期間にボランティアを募集している
・休日のイベントなどで外部から講師として招待したり、ボランティアを募集したりしている。
・ コロナの影響もあり招待する事は出来ていない。

非常時等の対応

		はい		いいえ		どちらともいえない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	100				
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	8	100				
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	87.5			1	12.5
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	62.5	1	12.5	2	25
42	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	50	2	25	2	25
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	100				

【改善目標、工夫している点など】

- 38 ・ マニュアルを作成し、周知している
- ・周知できている
 - ・説明していると思う
 - ・研修会を行っている。
 - ・こまめに伝えていると思う
 - ・小分けにファイリングされ、更新された際には職員間で周知する為に閲覧している。
 - ・マニュアルを作成し周知している
- 39 ・ 月一回、計画通り行なっている
- ・月1回必ず避難訓練を様々な災害を想定し行っている 心肺蘇生法についても外部講師の研修を定期的を受けている
 - ・行っている
 - ・定期的に訓練を行っている。
 - ・非常災害時に備え、子供達が慌てず避難できるよう、定期的に避難訓練を行っている
 - ・毎月行っている
 - ・月に一度必ず避難訓練を行い、職員で役割を決めて行なっている。
 - ・毎月、様々な災害を想定しての避難訓練を実施している。
- 40 ・ 虐待防止委員会を設置するなど、研修も行なっている
- ・虐待防止委員会を開催したり虐待に関する研修を行ったりしている
 - ・している
 - ・研修会を行っている。
 - ・書類等には目を通してはいるが研修には参加出来ていない
 - ・虐待防止委員会を設置し、研修に組み込むなどしている。
 - ・虐待防止委員会を設置し研修も頻繁に行っている
- 41 ・ 身体拘束についても研修を行い、保護者にも説明している
- ・現在身体拘束が必要な児童の利用はない
 - ・している
 - ・分かりません。
 - ・子供や保護者に説明して了承を得ているのかは分からない
 - ・身体拘束が必要な場合の為に許可書を作成したり研修を行うなどしている。
 - ・身体拘束が必要な児童はないが、研修を行ったり、保護者へも説明している
- 42 ・ 年一回、アレルギー調査票を依頼して確認している。
- ・現在対象児童の利用はないため対応していない
 - ・している
 - ・分かりません。
 - ・食物アレルギーの子の対応をしていない
 - ・事前に保護者からアレルギーについて伺っている。
 - ・入所時と年度始めにアレルギー調査票の提出をお願いし確認している。
- 43 ・ ヒヤリハットを月1件以上提出しているが、共有の部分では改善が必要
- ・職員1人月に1件は必ず作成し共有している
 - ・共有できていると思う
 - ・ヒヤリハットがあった場合、用紙に記入して報告している。
 - ・話し合いの場で共有出来ている
 - ・月に一件は必ずヒヤリハットを提出し、支援方法を共有出来るよう職員間で周知する時間を設けている
 - ・毎月1件以上のヒヤリハットを提出し、職員間で話し合い決定事項を設けて対策実施を行っている。また全員参加できる会議の場でヒヤリハット報告会を実施して共有している。

《 今後、改善を図っていく点 》

- 外部研修への参加の機会を増やしていきたい
また、事業所内の職員研修を通じて各マニュアルの再確認を定期的に行なっていく
- コロナウイルス感染状況の様子をみながら、保護者会の開催や、保護者や地域との交流の機会を設ける
- 感染防止対策委員会の定期的開催を実施し、引き続き感染症対策に努める